

「福島忘れるな」

高浜再稼働 反対集会、憤りの声

東京電力福島第一原発の事故を忘れるな――。関西電力高浜原発3号機（高浜町）で再稼働準備が進む中、24日に原発周辺で開かれた集会には全国各地から約450人（主催者発表）が集まり、憤りの声をあげた。原発周辺では警察官や警備員が並ぶ中、参加者らが「福島を忘れるな」とシュプレヒコールをあげ、原発ゲート前までデモ行進。関



高浜原発前で再稼働に反対する人たち＝高浜町

電社員に原発全廃を求める抗議申入書を手渡した。町文化会館であった「1・24高浜原発再稼働を許すな！ 全国集会」では各団体があいさつ。明通寺（小浜市）住職の中嶋哲演さん（73）は「電力を享受してきた大都市圏のみなさんが原発を止める運動をどう広げていくか、ともに考えて頂きたい」と訴えた。

福島県大熊町の木幡ますみ町議（60）は「川内（九州電力）や伊方（四国電力）、高浜原発で事故が起これば、（被害が）福島での事故以上に可能性がある。絶対に再稼働を許してはいけない」と語気を強めた。松山市の市民団体世話人の堀内美鈴さん（52）は伊方原発の地元で反対の声が多かったことを紹介し、「決して住民は再稼働に同意していない。声をあげる事が一番大切だ」と述べた。（大久保直樹）